

簡易生命保險法案外一件特別委員會會議事速記録第四號

大正五年二月二十四日(水曜日)午後一時十四分開會

○委員長(伯爵林博太郎君) 是ヨリ簡易生命保險法案外一件ノ特別委員會ヲ開會イタシマス、昨日ニ引續キマシテ簡易生命保險案第十一條ヨリ第十五條マデノ間ニ於ケル御質問ヲ此際御願イタシマス

○仲小路廉君 私ハチヨット希望ガアル、此保險法案ノ方ノ逐條審議ハ、ズン／＼御進ミナツテ宜シウゴザイマスガ、引續イテ特別會計法ヲ御審議ニナルノデアリマス、此特別會計法ニ付キマシテハ大藏大臣ノ出席ヲ希望スルノデアリマス、ドウカ委員長長カラ大藏大臣ノ出席ニナリマスヤウニ御打合せヲ願ヒタイト思ヒマス、其間ニ一方ノ方ハ逐條審議ヲ進メルト云フコトニシタイト思ヒマス

○委員長(伯爵林博太郎君) ソレデハ左様イタシマセウ、ソレデハ唯今ノ御請求ニ依リマシテ大藏大臣ノ御出席ヲ願ヒタイ

○小松謙次郎君 此十三條ノ規定デアリマスガ、是ハ普通ノ保險ニ例ハナイノデアリマスガ

○政府委員(松本丞治君) 普通保險ニハ日本デハゴザイマセヌ、外國ニ於キマシテハ英吉利ノ金額ヲ限リ又受取人ノ範圍ヲ限リマシテ、稍ニ是ニ近イコトヲ認メテ例モゴザイマス、是ハ日本デモ立法論ヲ致シマシテ或程度マデ認メルコトハ宜クハナイカト云フノデ目下農商務省デ調査ヲ致シテ居リマス、現今ノ制度ト致シマシテハ斯ウ云フ規定ハゴザイマセヌ

○小松謙次郎君 確カ郵便貯金ニモ此事ハ無カッタヤウニ思ヒマスガ如何デアリマスカ、チヨット……

○政府委員(日吉平吉君) 郵便貯金ニハゴザイマセヌ、唯讓渡ガ或場合ノ外ハ出來ナイト云フケデゴザイマス

○小松謙次郎君 ソレニ付テ別段ニ普通保險ニ於ケルガ如何カ御取調ノコトハナイノデアリマスカ

○政府委員(日吉平吉君) 郵便貯金ニ付テデアリマスカ

○小松謙次郎君 左様デゴザイマス

○政府委員(日吉平吉君) 此間モ是ハ衆議院デ御質問ガゴザイマシテ、是モ矢張り保險ト同シヤウナ工合ニシタイト云フ考デ調査ヲ進メテ居リマス、ソレデ郵便貯金デハ唯今、差押ガ出來ルカ否ヤト云フコトハ實際上ハ疑問ニナツテ居リマスガ、實際ニハ差押ヲ許シテ居リマスケレドモ、或程度マデ一致サセル必要ガアルデアラウト云フノデ調査ヲ致シテ居リマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 十三條ヨリ十五條マデニ御質問ハ尙ホゴザイマスカ……御質問ハナイト認メマス、第十六條ヨリ二十條マデニ移リマス

○小松謙次郎君 此十九條ノ復活申請ノ期間ヲ一年間ニ限ラレタノハ何カ事務上ノ關係デアリマスカ、ソレトモ其他ノ理由ニ依ルノデアリマスカ

貴族院簡易生命保險法案外一件特別委員會會議事速記録第四號

大正五年二月二十四日

○政府委員(松本丞治君) 是ハ民間ノ保險會社ガ通常保險ニ付テ矢張り復活ヲ認メテ居リマス、殆ド例外ナク認メテ居リマス、是ハ悉ク一年ト云フコトノ定メデアリマス、餘リ長クナリマシテ復活ト云フコトニナツテモ手續上困リマスカラ、又是ハ餘リ短ク致シマスルト保護ト云フ點ガ關ケテ參リマスカラ、民間ノ通常ヤリ方ニ依リマシテ一年ト云フ所ガ穩當ト考ヘテ斯ウ定メマシタ

○委員長(伯爵林博太郎君) 第十六條ヨリ第二十條マデ御質問ハ尙ホゴザイマスカ……別ニゴザイマセヌヤウデスカラ二十一條ヨリ二十五條ニ移リマス

○小松謙次郎君 昨日ノ質問ニ對シテ唯今配付サレタ表ガアリマスガ、此表ニハ關係ハアリマセヌガ、此際一ツ質問ヲ御許シテ下サイマスカ

○委員長(伯爵林博太郎君) 宜シウゴザイマス

○小松謙次郎君 此保險金額表ハ唯今御配付ニナリマシタガ、實際拂渡ラサレル時デモ、此端數ヲ付ケテ拂渡ラサレルノデアリマスカ

○政府委員(日吉平吉君) 端數ト申シテ五十六錢六十錢ト云フ、是ハ其私ノ考ヘデハマデ能ク確定ハ致シテ居リマセヌガ五十錢、六十錢——四拾五入ト云フ積リテ居リマス

○小松謙次郎君 五十錢位デ……

○政府委員(日吉平吉君) 十錢ヲ單位トシマス、五十九錢ハ六十錢トシマス

○小松謙次郎君 ソレハ保險證書ニ記載サレル金額デスカ

○政府委員(日吉平吉君) 左様デ、料金表ニモ此通り出テ居リマス

○小松謙次郎君 詰リ是等ガ普通保險ト餘程趣ヲ異ニシテ居リ點ト承知イタシテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(日吉平吉君) 左様デゴザイマス

○委員長(伯爵林博太郎君) ソレデハ又逐條質問ニ移リマス、第二十條カラ第二十五條マデ御質問ハゴザイマセヌカ……ゴザイマセヌケレバ第二十六條ヨリ第三十條ニ移リマス

○水野鍊太郎君 此二十九條ニ簡易生命保險審查會ト云フコトガアリマスガ、此組織ハドウ云フヤウナモノデ、何レ勅令出ルト思ヒマスガ、或ハアリマスカ能ク見マセヌガ、是ハ凡ソドウ云フ組織ニナルモノデアリマスカ

○政府委員(松本丞治君) 此審查會ノ組織ハ遞信省ノ官吏ノ若干、其以外ニ農商務省、司法省、內閣、法制局ト云フヤウナ所ノ官吏若干及ヒ保險ニ關シマスル經驗學識アル者ヨリ若干ト云フコトニ、大體定メマシテ、此審查會ノ組織上審查會ノ決定ハ公平無私ナルベキコトニ致シタイト考ヘテ居リマス、其細目ノ點ニ參リマシテハマデ確定案ト云フ程ノモノハ成立シテ居リマセヌ

○水野鍊太郎君 此條ニ依リマスルト、民事訴訟ヲ提起スルニハ必ズ此審查會ノ審查ヲ經テ後デナケレバナラヌコトニナツテ居リマスガ、恰モ審查會ハ第一審アルガ如キ形

ヲ爲シテ居ルノデアリマスガ、此審査會ノ審査ハ一審裁判アルカ、民事訴訟ヲ審査スル裁判所アルカ如キ形ヲ呈スルデアリマスガ、是ハ或ハ此審査會アルガ爲ニ保險契約者ノ利益ニナルコトモアラウト思ヒマスガ、又場合ニ依リマシテハ必シモサウデナイ、政府ノ一ツノ機關デアリマスカラ、行政ノ機關デアリマスカラ、却テ不利益ヲ來スコトガナイトモ限ルマイト思ヒマス、恰モ行政訴訟願ノヤウナ如キモノデハナイカト思ヒマス、サウ致シマスルト利益ニナル時モアリ、時ニ依ッテハ不利益ニナル時モゴザイマス、斯ウ云フヤウナ仕組ハ出來ナイモノデアリマスガ、民事訴訟ヲ直接ニ提起シテモ宜シイ、又其前ニ審査會ヲ經テ之ヲ以テ満足シテモツレデモ宜シイ、何レヲ選ムカ保險契約者、若クハ保險金額請取人ノ任意ニスル、即チ民事訴訟ヲ直接ニ提起シテモ差支ナイ、或ハ直接ニ提起シナイテ審査會ノ審査ヲ第一ニ經テモ宜シイト云フ風ニスル譯ニハ往カヌデアリマスガ、是ハ必ズ審査會ノ審査ヲ經ナケレバナラヌト云フコトニナリマスガ、斯ウ云フヤウナ何カ御研究ハアリマセヌカ

○政府委員(松本丞治君) 唯今ノ御質問ハ御尤モナコトデゴザイマス、實ハ唯今御話ノヤウナ趣意ニ案ヲ一旦起草シタノデゴザイマス、併ナガラ更ニ纏ッテ考ヘテ見マスルト、此保險加入者ノ如キモノハ概シテ細民デアリマス、極メテ智識ニ乏シイモノデアリマスカラ、免角此田舎ナドニハ訴訟等ヲ事トスル所謂二百代言ト云フヤウナモノガ中ニゴザイマシテ、是等ノモノガ濫リニ色々勸メマシテ訴訟ヲ起サセルヤウナコトガゴザイマス、若シモ之ヲ民事訴訟ヲ提起シテモ差支ナイト云フコトニ致シマスルト或ハ斯ノ如キ者ガ跋扈イタシテ、斯ノ如キ審査ヲ經テ所ガ到底不利益ニ歸スル譯同ジ政府ガヤルノゴカラト云フヤウナコトヲ言ヒマシテ、其結果濫訟ノ弊ヲ起シ、爲ニ保險加入者ヲシテ却テ費用代ニ於テ損ヲ受ケルコト云フコトガアッテハ甚ダ残念ナル、此審査ノ機關ハ第一審ト云フヤウナモノデアリマセヌ、再審査デ、最初ノ決定ヲモウ一遍審査ヲ仕直シテ決定ヲ仕直スト云フ位ノモノデアリマスカラ、又其手續ニ於テハ代書人ニ頼ンデ數錢投ジテ書面ヲ出セバツレデ審査ヲ受ケルコトニナッテ居リマスカラ、之ヲ致シマス爲ニ當事者ニ何等苦痛ヲ與ヘナイト先ヅ見テ宜イ、直チニ民事訴訟ニ掛ルコトガ出來ルヤウニナリマス爲ニ生ジマスル弊害ノ方ガ頗ル多カラウト云フコトデ復活イタシマシタ、司法調査委員ノ如キモ此制度ガ宜カラウト云フコトデ、爲ニ斯ノ如キ成案ヲ見ルニ至ッタ次第デアリマス

○委員長(伯耆林博太郎君) 御質問中デゴザイマスガ、大藏大臣ハ御急ギナサウデ此際御答辯ガアルサウデアリマスカラ仲小路君カラ此際御質問アルヤウニ……

○仲小路廉君 態々大藏大臣ニ御出席ヲ仰ギマシタガ唯今簡易生命保險法ノ審査中デアリマスガ、之ニ關聯イタシテ居ルハ簡易生命保險特別會計法案デアリマスガ、此簡易生命保險特別會計法ノ第五條ニ「本會計ノ收入支出及積立金ノ運用ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマスガ、之ニ付キマシテ實ハ過日來カラ同委員會ニ於テ種々質問モ致シ又遞信大臣カラモ詳シイ御答辯ヲ得マシタデアリマス、尙ホ今日態々大藏大臣ノ御出席ヲ願ヒマシタ趣意ハ此度此簡易保險ノコトガ施行ニナルト假リニ致シマスルト、屢々提案者カラモ御説明ニナリマシテ單リ都會ノミナラス成ベクハ各地方マデ、又大體ハ主トシテ中流以下ノ人々ノ爲ニ保險ノ便ヲ開イテ置キタイト云フ斯ウ云フ趣意アル、其趣意ニ依リマス、此事業ガ將來盛衰果シテ如何デアリマスルカハ測

ラレマセヌガ、一度斯様ナ法案ガ實行ニナルト致シマスレバ、成ベクハ相當ノ盛運ニナルコトヲ希望スルコトハ當然デアリマス、此成績ガ舉ッテ來マスルト其結果ハ自然各地方ニ於ケル零碎ノ資金、零碎ノ資金ガ吸收サレルト云フ形ニナル、ツレガ所謂保險資金ニ關スル運用ノ點デアリマスガ、之ニ付キマシテ特ニ大藏大臣ノ御意見ヲ承ッテ置キタイト思ヒマスルノハ、曾テ郵便貯金ノ獎勵ニ伴ヒマシテ隨分郵便貯金モ盛大ナ域ニ起イテ參リマシタ、殊ニ先年ハ鐵道國有等ノ結果ニ依リマシテ是亦今度國內ノ重要ナル鐵道ハ政府ニ歸スルコトニナッテ、ツレコレノ關係カラ、ツレバカリデモザリマスマイケレドモ、地方デ種々政府ノ機關ノ爲ニ吸收サレマシタ金額ガ自然中央ニ集中スル傾キガアルノデ、ツレガ爲ニ地方中央ニ於ケル金融ノ運用ニ付テ甚ダ不便ヲ感ズルコトモ多イ、先年モ既ニ郵便貯金ノ運用方法ニ付キマシテ各省ニ於テ種々ノ協議モアリマシテ、成ルベク地方ノ方ニ十分其資金ノ運用サル途モ講ジテ行カウト云フノデ種々ノ方法ヲ盡シタ結果或ル金額マデラモ限定ヲシテ、之ヲ地方ノ方ニ分配スルヤウナ途モ執ッタ次第デアリマス、旁々此事柄ハ極メテ大切ノコトト信ズルデアリマス、此際又更ニ斯ウ云フヤウナ法案ヲ實行ニナリマスルト同時ニ金額ノ狀態モ面白クアリマセヌ、殊ニ又此法律ノ趣旨カラ申シマシテモ、地方ノ細民其他ノ資金ヲ集メテサウシテ斯ウ云フ風ナ事業ヲシテ、又再ビ吸收サレタヤウナ方ニ成ルベクハ復歸スル途ヲ立ッテ中央地方ノ金融ヲ滑カニスルノハ一ツノ方法デアラウト思ヒマス、全體ノ趣旨ガ是ハ直接ノ社會政策ノ實行ハ致サレヌトシテモ、少ナクトモ社會政策ヲ含ンデノ趣旨ト思ヒマス、サスレバ此資金ノ分配法ニ付テモ成ルベク全體ノ根本主義ニ適フヤウニ分配ニナルコトハ至當ト思ヒマス、昨日モ此點ニ付キマシテ小松君カラモ其事ヲ伺ヒマシタ、郵便通信資金ニ關スル歐羅巴ノ有様ヲ伺ヒマシタガ、塊地利白耳義ノ狀態ハ隨分資金ノ吸收方法ニ於テ盡力イタシテ居ルト同時ニ資金ノ運用、殊ニ分配ノ方法ニ付テモ明カニ組織ヲ立ッテ種々方法ヲ盡シテ能ク其趣旨ニ適フ途ヲ執ッテ居ルデアリマス、此事ニ付キマシテハ我國ニ於テモ斯ノ如キ制度法律ガ立ツ以上ハ、能ク其趣旨ニ適フヤウニ致シテ參ルコトハ公私兩方ノ爲ニ極メテ便宜デアルト思ヒマス、昨日此事ハ遞信大臣ニ自分ノ意見ヲ申シマシタガ、遞信大臣モ同様ノ御意見デアリマシタ、唯從來能ク遞信大臣ノ考ト大藏大臣ノ考トハ免角一致シナイコトガアッテ尠ナカラズ支障ヲ來タスコトモゴザイマス、何レ此規定ハ勅令ニ讓ルコトト思ヒマスガ、コノ勅令中ニ相當ノ方法ノ立ッコトト信ジマスガ、私ハ此際ニ法律及勅令ノ中ニ必ズ斯ウ云フ方法ト云フコトハ申シマセヌ、却テツレヲ申上ゲルト時ニ從ッテ便宜ヲ得ナイコトモアルカモ知レマセヌカラツレハ強イテ申シマセヌガ、大體ノ趣旨ニ於テ唯今申シタヤウナ方法ニ之ヲ運用セラルト否トハ、此法案ノ贊否ニ付テモ重大ノ關係ヲ有ッテ居リマスカラ、之ニ付キマシテ大藏大臣ノ御所見ハ如何デアリマセウカ、之ニ付テ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(武富時敏君) 御説一々御尤ニ存ジマス、一般ノ郵便貯金モ實ハ稍々集中ニ過ギル虞ガナイカト云フコトヲ私ハ財政當局者トシテ頗ル苦心ヲ致シテ居ル所デゴザイマス、就中此簡易生命保險ハ御説ノ通り此事ガ直チニ社會政策ト申ス程ノコトデハ無イカモ知レマセヌガ、詰リ社會政策ヲ實行スルノ一ツノ階梯デアルト云フコトダケハ言ヒ得ルト思フデアリマス、此法律ノ立案ニ付キマシテハ、私モ以前ハ關係ヲイタシテ

立案ニ與テ次第アリマス、專ラ社會政策ノ階梯トシテ立案ヲシテ趣意アリマス、ソレハ是ニ依テ集マル所ノ資金ハ矢張り何トシテモ社會政策ノ目的ニ適フ方法ニ運用シタイト云フ意見ヲ持テ居リマス、即チ遞信大臣ト全ク同意見アリマス、社會政策ノ目的ニ適フコトハ色々アリマセウカ、例ヘバ勞働者ノ住宅ノ改善アルトカ、或ハ庶民銀行ニ資金ヲ融通シテヤルトカ云フコト數ヘ舉ゲレバ幾ラモアリマセウカ、サウ云フ未ダ具體的ニ是ミ斯ウ云フ方法ヲ運用スルコト云フ案ハ備テ居リマセウカ、大體ノ趣意ニ於テハ是非此集タル社會政策ノ目的ニ適フ方法ニ運用シタイト云フコトハ是ハ根本ノ觀念デゴザイマス、併ナカラ御説ニモアリマシタ通り、此事業ノ盛衰ハ豫メ知ルベカラズデアリマス、今カラ推算ヲ致シマシテ、サウニ一年ニテ金額ハ集ルベキ金額ハ集ラウト思ヒマス、實ハ七八年若クハ十年後ニナッタラ多少看ルベキ金額ハ集ラウト思ヒマス、其際ニハ唯今申サユニ是非社會改良ノ目的ニ副フ方法ニ此集タル金ヲ運用シタイト考ヘテ居リマス、其邊ハ全ク仲小路サント同一ノ意見ヲ自分ハ持ッテ居リマス

○仲小路廉君 大藏大臣ノ御考モ十分ニ了ラ承スルコトガ出來マシタコトハ甚ダ自分モ満足イタシマス、此實行ノ結果、直ニ其效果ヲ見ルコトハ出來マスマイト存シマスルガ、成ルベクハ是モ亦相當ノ成績ヲ舉ゲルコトヲ只管希望スルデアリマス、是ニ付キマシテ私ハ此度遞信大臣ニ於テ保險ノ實行、即チ資金ノ吸收ニ付テノ方法ニ關シテハ總テ制度モ立ッテ居リマス、漸次此事ガ發達シテ參ルニ隨ヒマシテ各種ノ遞信機關殊ニ全國ニ遍キ郵便局等モ利用ニナリマシテ、資金ノ分配ニ關スル任務モ矢張り同様ニ各種ノ機關ヲ利用ニナリマス、道ニナリマス、甚ダ一般ニ便利ヲ感ジハセウカト存シマス、過日モチヨット此委員會荒井君カラ此説ガ出タデアリマス、何レ漸次進シテ參ルト、庶民銀行ト云フモノヲ實行スル時機ガ來ヌトハ申サレマスマイト存シマス、左様ナ場合ニモ亦全國ニ遍キ郵便機關ヲ利用イタシマスルコトハ餘程便利ト考ヘマス、又此資金ノ運用ニ付キマシテモ或ハ地方ノ公共團體若クハ産業ニ關スルコト、更ニ進シテ遂ニハ或ハ貧民庶民ノ爲メノ病院施設アルトカ、更ニ長屋建築等ニモ關係ヲ持タストハ云ヘナイト思ヒマス、サウ云フ場合ニハ矢張り遞信大臣ノ所管ニ於テ資金ノ運用ニ關スル等ノ點ニ對シマシテモ亦相當ノ施設經營ガ必要デアラウト存シマス、此事ハ唯今ヨリ豫定シテドウ云フ事項ヲスルト云フコトハ是ハ難カシイコトニ相違ナカラウト思ヒマスガ、又立法ノ當時ニ於キマシテハ成ルベク此趣旨ヲ官民竝ニ同一方向ニ向フコトニシマスルコトハ此法案ノ運用ヲ滑ニスル點ニ於キマシテモ、一般ニ又幸福ヲ感ズル點モ薄カラヌコトト存シマス、政府各部ニ於カレマシテノ意見ハ勿論、官民共ニ同一ノ意見ニ向フコトハ甚ダ大切ト考ヘ今日御出席ヲ願ヒマシタ、是ニ付キマシテ御意見ヲ……

○國務大臣(武富時敏君) 至極宜シカラウト存シマス

○水野鍊太郎君 折角大藏大臣ガ御出席デアリマスカラ、私モ此積立金運用ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ定ムト云フコトデアリマスカラ、何レハ勅令デ他日發布サレルコトデアラウト思ヒマス、唯今大藏大臣ノ御答辯ガアリマシタヤウナ趣旨ハ勅令ノ中ニサウ云フコトヲ御明定ニナル積立デアリマセウカ、具體的ノ事柄ハ何ト云フコトハ分ラヌト思ヒマシマスガ、大體ノ趣旨ハサウ云フヤウナ趣旨ヲ此勅令中ニ御掲ゲニナルト云フ御考デアリマス

○國務大臣(武富時敏君) 勅令ノ案ハ未ダ具體的ニ斯ウト云フコトハアリマセウカ、前ニ申上ゲマシタヤウナ趣意ニ其案ヲ組ム積リニナッテ居リマス

○小松謙次郎君 尙事ノ序デアリマスカラ、昨日遞信大臣ニ申上ゲタコトデアリマスガ、此事ハ主トシテ大藏省ノ御關係ノヤウデアリマスルカラ、大藏大臣ニ伺フデ置キタイノハ、此外國デ資金運用ノ委員ト云フモノガ設定サレデアリマシテ、サウシテ其委員ガ資金運用ノ方法ニ付テ意見ヲ諮問ニ應ジテ申述バレルト云フ制度ニナッテ居ルヤウデアリマス、白耳義デアリマスルカ或ハ塊地利デアリマスルカ、此委員ノ組織ハ唯今マデ日本デ行ハレタヤウナ委員ノ組織デハナイ、是ハ主トシテ當該責任者ハ無論ノコトデアリマスガ、其以外ノ官吏ナド包含セズシテ何レカト申スト、銀行ノ頭取或ハ保險會社ノ社長トカ云フヤウナ種類ノ者ヲ以テ委員ヲ組織シテ居ルヤウデ、而シテ其運用ニ關シテハ其審查委員ノ詰リ意見ヲ徵シテ運用ヲ致スト云フコトニ承知イタシテ居リマス、唯今ノ御話ノ點ニ依リマス、此資金ハ數年ノ後ナラデハ餘リ運用スル程ノモノニハナルマイト云フ御説ノヤウデアリマシタガ、或ハ左様デアリマセウト思ヒマスガ、制度トシテハ此運用審查委員ト云フモノヲ御設ケニナル必要ガアリハセウカト考ヘルデアリマス、大藏大臣ニ於テハ右等ノコトニ付テハ如何様ナル御意見デアリマス

○國務大臣(武富時敏君) ヲレハ目下研究中デアリマシテ、實ハ其資金ノ利用ノミナラズ、全體ノ預金部ノ運用ニ付テモサウ云フヤウナ組織ヲシタガ宜クハナイカト云フ意見モアリマス、折角各國ノ制度ナドモ今取調ベテ居ルコト云フヤウナ次第デゴザイマス、之レモ矢張り此資金ノ運用ニ付テモ遞信大臣ノ意見デハ取調中ダソウデアリマス

○小松謙次郎君 ドウカ左様ナモノヲ御設ケニナルヤウニ御評議ヲ願ッテ置キマス

○委員長(伯曾林博太郎君) ヲレハ以前ニ戻リマシテ、逐條ノ質問ニ移リマス

○水野鍊太郎君 先程ノ續キヲ承リマスガ、御趣意ハ分リマシタデゴザイマスガ、茲ニハ其民事訴訟ヲ提起スル云々トアリマスカラ、簡易生命保險審查會ノ審查ヲ經ルノハ必ラズ民事訴訟ヲ提起スル場合デナケレバナラヌ、ヲレハ前提トシテ居ルノデナケレバナラヌヤウデアリマスガ、民事訴訟ヲ提起スルカセヌカハ別デアリマスガ、先程政府委員ガ御話ノヤウニ再審查ヲ求メル、下級官廳ノ決定ニ對シテ不服デアアル、サウ云フ時ニ名前ハ再審查デアリマスカ或ハ嘆願デアリマスガ、名ハ如何様デモ宜シイデアリマスガ、要スルニ再審查ヲ求メルト云フ場合ニモ必ラズ此審查會ニ審查セシメルガ、審查會ノ審查ノ結果ニ依ッテ再審查ヲ決定スル、斯ウ云フ趣意ニナルデアリマセウカ

○政府委員(松本丞治君) 唯今再審查ト申述バシタノハ此審查會、審查ガ即チ始メニ決定ヲ致シマシタニ付キマシテ、貯金局デ審查ヲ致シマス、其審查ノ實質ニ於テ再審查ニ當ルコトガアル、斯ウ云フ趣意デ申述バタ次第デアリマス、即チ貯金局ノ審查ヲ決定ハ確定セラレマシタ後ニ於キマシテ、苟クモ之レニ不服アルモノハ政府ノ審查會ノ審查ヲ受ケル、其審查ハ即チ言ハバ貯金局ノ審查ヲ更ニ仕直サウナ趣意デアルト云フ丈ケノ意味デ申述バタ次第デアリマス

○委員長(伯曾林博太郎君) 二十五條ヨリ三十條マデ、モウ御質問ハゴザイマセヌカ、ゴザイマセヌケレバ三十一條ヨリ三十四條ニ移リマス、三十一條ヨリ三十四條マデ別ニ御質問ガナケレバ、更ニ第一條ヨリ三十四條迄ノ間ニ於キマシテ御質問ノ殘リ

デモゴザイマスルナラバ、此際十分ニ御質問ヲ願ヒタウゴザイマス、之モ別ニ御質問ガナイヤウデアリマスカラ、之レヨリ簡易生命保險特別會計法案ニ移リマス、此法案ニ付キマシテ大體ノ御質問ヲ唯今ナサレムコトヲ希望イタシマス

○水野鍊太郎君 此法案ニ依リマス特別會計ノ收入ノ中ニ一般會計ヨリ繰入金額ト云フモノガアリマス、サウシテ一般會計ヨリ繰入レル金額ハ如何ナルモノデアアルカト申シマスルト、多分參考書ニゴザイマス簡易生命保險事業開始歳入歳出豫定計算書ト云フモノデアラウト思ヒマスガ、之レニ依リマスルト、第一年度カラ第五年度迄ヲ見マスト、年々不足額ガ生シテ居ル、此不足額ガ即チ一般會計ヨリ繰入レル金額、即チ國庫補助額ト云フモノニナルデアアルト思ヒマスガ、左様デアリマスガ

○政府委員(日吉平吉君) 左様デゴザイマス、此不足額ツツ此國庫カラ繰入レマス

○水野鍊太郎君 左様致シマス、五年度ニナリマス五萬五千餘圓、六年度以降ハ出テ居リマスガ、六年度以降ニナリマスレバ國庫補助額ハ全然ナクシテイケルコトニナル、斯ウ云フ御見込デアリマスガ

○政府委員(日吉平吉君) 六年度以降ニ付テハ計數ヲ定メタモノガゴザイマセヌガ、此大凡ノ割合ヲ以テ往キマスルト、六年度以降ハ大體不足額ハ消滅スル考デアリマス

○水野鍊太郎君 モウ一ツ伺ヒマスガ、此國庫補助額ト申シマスノハ即チ不足額ニ對スルノ補給デアリマスガ、此事業ガ豫定ノ如ク成績ヲ擧ゲマスレバ、唯今參考書ニアリマス如ク、凡ソ六年度以降ハ補助ハイラナイト云フコトニナルデアリマス、若シ豫定ノ通りニ成功セバ、殊ニ此死亡者ナドガ餘計出テ保險金ヲ餘計拂ハナケレバナラヌトカ、或ハ解約ガ餘計アルトカ云フヤウナ種々ノ事情ニ依リマスルト、必ズシモ此豫定通りニイカナイテ國庫ノ補助額ト云フモノハ段々増シテ往カナケレバナラヌ、サウスルト六年度以降ニ於テ必ズアルコトガ出來ナイト云フ事情ガ生ズルト思ヒマスガ、其邊ハ凡ソサウ解釋シテ差支ナイト思ヒマスガ、之レハ單ニ豫定ニ過ギナイコトト思ヒマスガ、ドウ云フコトニナルノデスカ

○政府委員(日吉平吉君) 御尋ネデゴザイマスガ、死亡率等ハ十分見積ツデアアルノデゴザイマスノデ、大體此豫定ヲ左シテ超過スルコトハナカラウト思ヒマス、若シ萬一死亡者等ガ多イトカ、契約者ガソレ程還入ラヌト云フヤウナコトガゴザイマスレバ不足ハ超過イタシマスガ、加入者モ大體内輪ニ見積ツテ居リマス、死亡率モ高ク見積ツテ居リマスノデ、之ヲ超過サウナコトハナカラウト見テ居リマス

○水野鍊太郎君 モウ一ツ承リタイノデアリマスガ、昨日私ハ最高額三百圓ト云フノヲ、假三百五十圓若クハ二百圓ニ下ゲタナラバ如何ナル影響ガアルカト云フコトヲ伺ヒマシタガ、其當時ノ政府委員ノ御答デハソレハ甚ダ困難デアル、絶對ニ出來ナイノデアアル、保險者ガ殖エバ殖エル程其計算ガ取レヌト云フコトデアリマスガ、若シ假ニサウ云フ事實ガアリマス致シマシテ、國庫ノ補助額ト云フモノヲ今少シ殖ヤスト云フコトニナリマスレバ、最高額ト云フモノヲモウ少シ下ゲテモ計算ガ立ツト云フデアリマスガ、ソコハ私ニハ能ク分ラヌデアリマスガ……

○政府委員(松本添治君) 御説ノ如ク補助額ヲ大ニ殖ヤスト云フコトニナリマスレバ勿論計算ハ立チマス、併ナガラ此計算不足ヲ生ズルヤウナ計算ニ致シマスレバ、契約ガ

殖エバ殖エル程不足額ガ多クナルト云フコトヲ考ヘナケレバナリマセヌ、サウ致シマス此契約ガ漸次殖エマシテ、事業ガ益々發展スルニ隨テ國庫ノ補助額ト云フモノハ非常ナ巨額ニ上ボルト云フコトヲ覺悟シナケレバナラヌデアリマスガ、斯ノ如キ事ハ將來ノ財政ノ計畫ヲ立テルト云フコトデアリマスカラ、此計畫ト致シマシテハ收支償フト云フ趣意デ計畫ヲ立テテ居リマスノデ、最初ノ此補助金ハ即チ事業ノ初メニ當リマシテハ、通常ノ保險會社ノ如キモノモ、ドウシテモ創業費ノ損ヲ生シテ參ル、ソレニ充テル爲ニ或ハ通常會社ニ於テ基金ヲ作ラシムル、或ハ株式會社ニ於テ資本金ヲ作ラシムルト云フ、サウ云フ趣意ノ創業費ニ充テル趣意ヲ以テ補助金ヲ取ルコトニ致シテ居ル、計算トシテハ收支相償フト云フコトノ計算ヲ立テテ居リマス、其趣意ヲ變更シマシテ、常ニ國庫カラ一契約毎ニ多少ノ補助ヲ與ヘルト云フコトニ變更シマスレバ御説ノ如ク勿論出來ルデアリマス

○水野鍊太郎君 此表ニ依リマス、國庫補助額ト云フモノハ最高額ハ、十八萬圓デアリマシテ、仕舞ニハ五萬五千圓バカリデアリマスガ、先ヅ左程巨額ノモノハ要ラナイダラウト思ヒマス、若シ最高額三百圓ト云フモノヲ百五十圓トカ、二百圓ニシマス、不足額ガ非常ニ増スト云フコトデアリマスガ、其理由ハ能ク分リマセヌケレドモ、其理由ノ詳細ノ事ヲ聽ク必要ハアリマセヌガ、大凡ソサウ云フ風ニ假ニ最高額ヲ下ゲルト致シマスルト云フ、此不足額ガドノ位増スモノデアアルト云フ御計算ハナイノデアリマスガ

○政府委員(松本添治君) 其計算ハ致シテ居リマセヌ

○水野鍊太郎君 御計算ハ御調ベニナッテ居ラヌト云フコトデアリマスナラ、ソレハ宜シウゴザイマスガ、大凡ソノ見込ハドノ位ニナルモノデアラウト云フ、其御見込モナイノデアリマセウカ、例ヘバ此法律ノ案ニ依レバ國庫補助ノ最高額十八萬圓、而シテ五年度以降ハ要ラヌト云フコトデアリマス、若シ最高額ヲ下ゲレバ大凡ソ此位ハ殖エルモノデアアルト云フ、大凡ソノ御見込ハナイノデアリマスガ

○政府委員(松本添治君) 其大凡ソノ見込ハ推理上出來マス、即チ此計畫ハ全然過不足ナシト云フ趣意ニ成テ居リマスカラ、若シ金額ヲ下ゲマスレバ、即チ一人毎ニ多少ノ缺損ヲ生ズルト云フコトニナリマス、サウナリマスレバ契約數ガドノ位デアアルカト云フコトヲ豫測シマセヌト、缺損ガドノ位ニナルト云フコトヲ積算スルコトガ出來マセヌ、要スルニ契約ガ殖エバ殖エル程關損ガ多クナルト云フコトハ理論上當然ト言ハヌケレバナリマセヌ、此契約ハ將來ニ於キマシテハ餘ホド巨額ニナルト云フコトヲ期シテ居リマスガ、其結果、其巨額ニナリマシタ時ニ關損ガ餘ホド大キクナッテ來ルト云フコトヲ期待セザラ得ナイコトニナルノデアリマスガ

○水野鍊太郎君 私ハ實ハ數字ヲ拜見シタイト思ツタノデアリマスガ、理論上ノ見込ハ別デアリマスガ、數字ハ大凡ソドノ位ニナルト云フコトヲ拜見シタイノデアリマスガ、調ベガナイトシマスレバ致シ方ナイノデアリマスガ、前ニハ百五十圓ニナリマス、謂ユル其方ニハ割増金ガアツタノデアリマスガ、要スルニ最高額ハ二百五十圓トナッテ居リマス、其時ノ計算ニ對シテサウ云フヤウナ年々ノ不足ハドノ位、即チ國庫補助額ハドノ位ト云フ御計算ハ調ベテ居ラヌデアリマスガ

○政府委員(松本添治君) 其事ニ付テハ御質問ニ御答シタト思ヒマスガ、此度ノ案

ト、前ノ案ト、兩者相違ガアルト云フコトハ認メマセヌ、前ノ案ニハ二百五十圓ト定メテアリマスガ、必ズ五十圓ノ割増ガアルモノトシテ計算ヲシマシタ、此趣意ハ、此案ト前ノ案トハ違ヒマセヌガ、其計算ノ安全ヲ圖ル爲ニ多少ノ貸金ガアルト云フ見込ヲ立テテ計算シテ居リマス、此度ノ案ト前ノ案トハ全ク同シコトニナツテ居リマス

○小松謙次郎君 此事業取扱費其他ノ諸費ヲ以テ其ノ歳出トスルコトニナツテ居リマスカラ、恐ラクハ保險ニ關スル經費ハ上貯金局長ヨリ下二等郵便局ノ集配人ニ至ルマデ、何レモ此方ノ經費ヲ以テスルノダラウト思ハレルノデアリマスガ、其實際ノ支拂方ト云フモノハ如何様ニサレル御積リデアリマスガ、大凡ソノ腹案ヲ伺ヒテ見タイト思ヒマス

○政府委員(日吉平吉君) 唯今貯金局長ノ御話ガゴザイマシタガ、從來一般ノ通信業ノ爲ニ置イテアル、サウ云フ官吏ノ俸給等ハ總テ一般會計カラ支出シマシテ、此會計ニハ累ヲ及ボサナイコトニナツテ居リマス、特ニ此案ハ保險ノ事業ニ必要ノ經費ダケ支出スルコトニナツテ居リマス

○小松謙次郎君 例ヘテ見ルト二等郵便局ノ取扱經費ノ如キモノハドウ云フ風ニシテ仕拂フデアリマスガ

○政府委員(日吉平吉君) 二等局ノ經費ハ矢張り保險ノ事業ニ付キマシテハ、保險ノ色ミノ募集費トカ、保險獎勵費トカ、各種ノ件數ヲ舉ゲマシテ計算ヲシマシテ、件數毎ニ手數料トシテ一人ニ付キ幾ラカツノ經費ト云フコトヲ引受ケルコトニナツテ居リマス

○小松謙次郎君 ソレハ渡切經費デアリマスガ、實費デアリマスガ

○政府委員(日吉平吉君) 渡切經費デアリマス

○小松謙次郎君 渡切デアルト、前年度ヲ以テ後年度ヲ律スル譯デアリマスガ、渡切經費ト云フノハ、其經費ノ中テ費用ヲ支出スルノデアリマスガ、今ノ御話ヲ見ルト云フト、後拂、實費計算ノ如クニモ聞エルノデアリマスガ、ソコハドウ云フコトニナツテ居リマスガ

○政府委員(日吉平吉君) 其年月毎ニ取扱ノ件數ヲ計算シテ後拂ノ形式ヲ以テ一件當リ幾ラト云フコトヲ支拂フコトニナツテ居リマス

○小松謙次郎君 是ハ經費支給ノ上ニ於テ非常ニ繁雜ナ手數ヲサセル如ク思ヒマスガ何カ實施前ニモウ少シ簡略ニ手續ヲサレルヤウナコトニ御考置キニナツテハ如何デアゴザイマセウカ、其點ハ別ニ質問デアリマセヌガ其コトダケ申シテ置キタイト考ヘマス

○山本達雄君 私ハツヒ感冒デアリマシテ是マデ常ニ缺席イタシマシタカラ皆サンノ質問應答ニ付テハ悉ク承知イタシテ居リマセヌ、故ニ或ハ重複ニナラウト云フ虞ガアリマス、唯大體ニ付テ承ハツテ置キタイノハ、唯今水野君カラ質問イタシマシタ三百圓ノ制限ノ下ニ此保險ニ付テ既ニ政府委員ノ色ミノ歴史の御説明モアリマスガ、私ハ農商務省ニ居リマシタ時ニ此簡易保險ニハ大體賛成シテ居ルノデアリマス、既ニ此簡易保險ニ付キマシテハ第一ニ正確ニシテ如何ナルコトガアツテモ被保險者ニ向ッテ損ヲ掛ケナイト云フコトト、又下級民ニ對シテ如何ハシキ仕事ヲスルト云フコトハ却ッテ性質ニ於テ甚ダ面白クナイ、故ニ是ハ無論簡易保險ハ良イト云フコトハ承知シテ居リマスノデアリマス、ソレハ同時ニ一面ニハ既ニ今日生命保險ト云フモノハ普通ノモノデモ中ニ盛ニナツテ居リマス

ニ付キマシテハ、此普通ノ保險會社ニ影響ヲ著シク及ボサナイト云フコトガ一面ニ非常ニ必要ナコトヲ、ソレ故ニ是マデ色ミドノ内閣ニ於テモ調ベテ居リマシテモ、唯民間ノ保險會社ニ如何ナル影響ヲ及ボスカト云フ所ニ至ッテ遂ニ研究ガ十分足ラヌヤウナコトヲ後レ勝ニナツタコトト承知シテ居リマス、ソコデ之ヲ行キマス上ニ付テハ最モ重大ナ必要ト存ジマス點ハ、既設ノ普通保險會社ニ餘リ危害壓迫ヲシナイヤウニ徐ニヤツテ行クコトガ必要デアアル、然ルニ此三百圓ノ制限ト云フコトニナリマス是マデ既ニ許シテ居リマス、會社又後ニ至ッテ三百圓以下ヲ許サナイト云フ色ミノコトガアリマスガ、併シ其保險數ニ至ッテハ中ニ一體ノ高ガ少クアリマシテ制限ガ五百圓臺トナツテ居ルヤウナコトデアリマスカラシテ、サウシマスル此三百圓ノ高ト云フモノハ既設ノ會社ニ著シク影響ヲ及ボスモノト私ハ思フテ居ルノデアリマス、然ルニ今水野君ノ質問ニ對シテ政府委員ノ答ハ之ヲ少クスルト云フト遂ニ政府ハ收支償ハヌト云フコトニナル、是モ愈々收支償ハナクナルカト云フコトハモウ少シ委シク是亦調ベマセヌケレバ合點ガ行キマセヌノデアリマスガ、併シ假ニ政府委員ノ云フガ如クデアリシテ見マシテ、ソレナラバ其收支ヲ利アリト云フニ付テハ外ニ何カ途ガナイカ、此案ヲ見マスルト既ニ保險ノ募集費トシテ千分ノ六デアリマスガ、ト云フヤウナモノヲ、又集金手數料トシテ一割二分ト云フ如キ中高イモノヲ拂ッテ居ルノデアリマシテ、斯ノ如キモノヲ普通ノ保險會社ニ比ベマスト云フト餘ホド率ガ高イヤウニ思ヒマス、斯ウ云フ集金一割二分、若クハ百圓ニ付テ六十錢トカ云フ、千分ノ六ト云フ如キモノヲ十分ニ下ケテサウシテ行キマセヌケレバ餘ホド此コトニ付テハ勸定ガ違ッテ參ラウカト思ヒマス、何モ政府ノスル仕事デアルカラ競争モ何モ無いノデアリマス、此勸誘ノ爲ニ手數料ヲ高クシ或ハ集金ニ餘計ヤルト云フ必要ハアルマイト思フノデアリマス、サウ致シマスレバ其方ヲ減ズルト云フコトニナツタナラバ收支ニ於テ償フヤウニナルコトハナイカト思フノデアリマスガ、此集金一割二分又募集ノ人ノ千分ノ六ト云フ如キモノハドウ云フ所カラ基礎ヲ御立テニナリマシタガ、又之ヲ下ゲルト云フコトハ如何デアゴザイマスガ、出來ナイノデアリマセウカ、又サウシタナラバ三百圓ト云フ土臺ニ付テモズト低クシマシタ所ガ收支償フヤウニナリハシナイカト云フ疑ヲ有ッテ居ルノデアリマスガ、此點ニ付キマシテハ一ツ説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(松本恭治君) 御説ノ如ク募集手數料及ビ集金手數料ヲ減ジマシテ、之ガ爲ニ經費ヲ減少スルト云フコトヲ得マスレバ、同シ保險料ヲ以テマシテ此最高限度ヲ多少減少スルコトヲ得ルニ至ルコトハ明瞭ダラウト思ヒマス、併ナガラ此募集手數料及集金手數料ハ實ハ餘ホド切詰メタモノデアリマシテ、高キニ失スルコトハ餘リナカラウト云フコトニ考ヘラレテ居ルノデアリマス、其何ガ故デアルト云フコトヲ少シ申述タイト考ヘマス、成ホド率ヲ申シマス或ハ千分ノ六ト云フ或ハ百分ノ十二ト申シマスカラ稍大キイヤウニ見ヘマスガ、第一ニ御考ヲ願ヒタイト云フコトハ、通常保險ニ於キマシテハ現今ノ新契約ノ平均額カラ申シマス七百圓臺ニナツテ居リマス、然ルニ此簡易保險ニ於キマシテハ平均額ガ七十五圓ト致シテ居リマス、約十分ノ一ト見テ宜シイノデアリマス、之ガ故ニ通常保險ニ於ケル例ヘバ千分ノ六ト云フモノヲ此簡易保險ニ於ケル千分ノ六ト云フモノト比ベマスルト、比率ニ於テハ同シデアリマスガ其額ニ於テハ即チ十分ノ一ナルモノト御承知ヲ願ヒタイ、然ルニ募集等ヲ致シマスルト、費用ハ成程通常保險ノ

○男爵眞田幸世君 先刻御伺ヒ致シタク存シマシタガ、陸軍省ノ政府委員ヲドウカモウ一度……

○仲小路廉君 其間ニチヨット此特別會計法ノ問題ニ付テアリマスガ、先刻水野君ノ質問ニ對シテチヨットサウ思フデアリマスガ、此特別會計法ノ根本ノ趣意トシテハ簡易保險ヲ實行スル自營主義トシテ居ル、國庫カラ補助シテ簡易保險ヲ行ハシムルト云フ趣旨デハナイ、是ハ根本デアルト思フ、勞働保險ノヤウニ國庫カラ補助シテサウシテ或ル保險ヲ行フト云フノモ何デアリマスルガ、今度ノ此簡易保險ハ全ク根本ハ自營國庫カラ別ニ助成スルト云フデアリマス、唯政府ノ持ッテ居ル各種ノ機關ヲ利用セシムルト云フコトガ、是ガ餘ホド信認ヲ助ケルヤウニナル、直接金額ノ補助ハシナイト云フコトニナル、サウ云フ根本カラ行キマスと云フ特別會計法ノ第二條ニ毎年豫算ノ定ムル所ニ依ル一般會計ヨリ繰入ル金額ト云フモノハ、是ハ詰リ其會計ノ細目ニ立ッ譯ニナッテ來ル、是ハ丁度鐵道特別會計ノ歳入ガ矢張りサウナッテ居ル、アレハ自營ノ主義デアル、根本ニハ遠イ國庫カラ金額ガ這入ルトシテモ、ソレハ矢張り一時借入金ノ支出ニナル、隨ッテマア利率ハ極ク低イトシテモ矢張り其中ノサウ云フ計算ニシテ居ル、差向キ實行ノ際ニ於テハ別ノ分ガ立ッノハ此總計ノ計算ヲ見テ分リマスルガ、國庫ハ三年位ハ不足ガ立ッガ、一體ニマダ事業ノ振ハヌコトデアリマスルカラ、ソレダケノ間ハ矢張り支出ハ國庫カラ借入レテモ收支計算ハ付クノデ、矢張り計算ヲ立ッルト云フコトガ本當デナイカト思ヒマス、サウスルト此特別會計ハ將來永久ニ行ハレルト見ナケレバナラス、一般ノ資金ト見ナイデ、特別ノ主義ニシテ置クト云フコトハ出來ナイモノデアリマスガ

○政府委員(松本丞治君) 仰セノ今國庫カラ繰入ノ金額ハ事業費ダケヲ借入レマス、是レハ借入レテモアト返却スル主義デハナイ、其後ニ於キマシテハ先ヅ以テ國庫カラ借入レル金額ハ萬ナイト信ジテ居リマス、若シモ之ヲ必要トスル場合ガ生ジマスレバ事實ニ於テハ借入金ノ支出ヲ持マセヌ、即チ計算上生ジテ來タ據ロナイ缺損デアリマス、此物タルヤ後ノ計算ニ依ッテ補給スルト云フ見込ガ付キマセヌカラ、茲ニ於テ繰入金額ガアリ得ルト致シマシタラバ之ヲ明記シテ置ク必要モアルシ、政府ニ於テハ必ず差入ル金額ガアルト云フ考デ、借入レル金デナイト云フ趣意カラ同時ニ茲ニ定メタル次第デアリマス

○仲小路廉君 唯問題ガ斯ウ云フ風ニナッテ、將來ニモ必要上不足ヲ生ジタ時分ニハ國庫カラ繰入レテソレダケノ不足分ヲ補フト云フコトガ立法ノ趣意トスレバ、問題ハ假ニ三百圓ト云フモノヲ本ニシテ行ッテ七十五圓ノ平均率ト見テ收支ヲ取ツタ、ソレヲ假ニ二百五十圓ト上ヲ下ケルト云フト、二百圓ヲ本ニシテ七十五圓ノ平均ニシテ收支ノ計算ヲ立ッテ居ッタモノヲ幾ラ計算ヲ違ヘテ來ルコトニナル、サウスルト先刻御說明ニナッテヤウニ、ソレダケノ分ハ不足ヲ來スカラ始終補ウテ行カケレバナラス、將來デモ必然ノ二生ズル損失ヲ國庫カラ補フト云フコトガ生ジテ行ケバ、ヨシヤ收支ニ不足ヲ告ケルカラト云ッテモ七十五圓ノ平均ガ下ッテモ同ジ趣意ニナリヤセヌカト云フ 水野君ノ如キ議論ガ立ッテ來ヤセヌカト私ハ恐レルノデアリマス、根本ハ自營ノ主義ニシテ國庫カラ補充スル趣旨デハナイ、或ル意味カラ言ヘバソレデアルカラ計算ヲ密ニシテ一般ノ勘定ニ對シテハ始メノ間十一萬圓、十七萬圓、十八萬圓ト續ケルノハ餘儀ナイ、要スルニ是ハ臨時部ニナル

モノデアルト云フコトノ趣旨ニナルト云フコトハ、此一般會計カラ繰入レナイノガ本則デア、唯數年間ニ於ケル謂ユル創業時期ニ於ケル臨時部ニ屬スルモノデアルト云フコトヲ御尋シテデアリマス

○政府委員(松本丞治君) 此繰入金額ヲ掲ゲマシタノハ唯今ノ御話ノ如ク創業數年間ノ場合ニノミ適用サル積リデアリマス、後年ニ至ッテ不足ヲ生ジタ時ニ繰入レルコトガアリ得ル、計算ガ間違ッテ居ル、計算以外ノモノガ生ジタ時ノ問題ニナリマシテ自然適用ハ後ニ至リマスレバナクナッテ參ルト云フ考デアリマス、全クナイモノトハ信ズルコトハ出來マセヌノデ、掲ゲテ置クダケノ必要ハ存立シテ居ルト云フ狀態デアリマス

○委員長(伯耆林博太郎君) 唯今眞田男爵ノ陸軍當局ニ質問ノ通告ガゴザイマスカラ、此際特別會計ノ質問ハ中止致シマシテ眞田君ノ御質問ニ移リマス

○男爵眞田幸世君 此ハ此度出デ居リマスル所ノ簡易保險ト、現在民間デヤッテ居ル所ノ徵兵保險トノ關係ニ付テ陸軍省ノ御所見ヲ一應伺ッテ置キタイト云フノデアリマス願ッテ次第デアリマス、ソレハ承ル所ニ依レバ此徵兵保險ト云フモノハ詰リ兵役ノ義務ノ公平ヲ圖ルト云フコトデ、又國民ヲシテ義勇奉公ノ精神ヲ喚發セシメテ、又勤儉ノ美風ヲ養ハセル爲ニサセヌモノヤウデアリマス、然ルニ此簡易保險ト云フ此方ガ實施サレル曉ニハ、此徵兵保險ナルモノニモ非常ナ打撃ト云ヒマスガ、多少障礙ヲ與ヘテ行キハセヌカト云フコトヲ大分民間デハ憂ヘテ居ルヤウニ思ハレマス、ソレニ尙ホ簡易保險ト云フモノハ通常ノ保險會社トハ餘ホド趣ヲ異ニシテ居ルモノデ、國家的ニ國ノ上ニ於テ非常ナ關係ヲ以テ居ルモノヤウニ思ハレルノデアリマス、ソレデ私ノ承ッテ居ル所ニ依レバ極ク下層ナ人民ナドハ徵兵保險ニ這入ッテ居ルガ爲ニ、徵兵ニ出タ後ノ家族モ非常ナ都合ニナッテ居ルヤウニモ承ッテ居リマス、又徵兵ニ出テ居ル最中デモ、非常ニ安心シテ國家ノ爲ニ盡シテ行クト云フヤウナ誠ニ結構ナ保險ノヤウニ思ハレルノデアリマス、ソレデ陸軍デモ是ハ餘ホド此保險ノコトニ付テハ歡迎シテ居ラレルモノデアラウト思フノデアリマス、是等ノ點ニ付テ定メテ閣議デ御熟議ニハナッタデアリマセウガ、陸軍ノ方ノ御考ハ、今度此法案ガ出タ爲ニ總テ前ニ申シタ方ノ關係ハ及ボサナイト云フ御考デアリマスガ、若シ及ボサナイト云フナラバ細カニ御意見ヲ伺ッテ置キタイト思フノデアリマス

○政府委員(隈德三君) 御答致シマスガ、陸軍ニ於キマシテハ此保險ト云フモノニ付キマシテ細カニ調査ヲ致シテ居リマセヌノデ御満足ナル御答辯ハ遺憾ナガラ出來兼ネマスガ、唯徵兵保險ガ簡易保險ト如何ナル影響ガアルカ、徵兵保險ニ別ニ差支ハナイカト云フ點ニ付キマシテハ御答ヲ致シマスルガ、陸軍ノ考ト致シマシテハ別ニ差支ハナイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、ソレハ徵兵保險ヲ致シマスモノハ申スマデモナク男子デアリマシテ、而シテ重ニ徵兵保險ヲ附ケマスルノハ掛金ノ少イ爲ニ最も多ク這入ルノハ一歳二歳位ナ所デ、十歳ヲ越シタ者ハ少イト云フコトハ確ニハ申サレマセヌガ承知シテ居リマス、ソレ故ニ別段此簡易保險ナルモノガ生ジテ來マシテモ影響ハ左ホドナイト考ヘテ居リマス、ソレダケ申述ベテ置キマス

○男爵眞田幸世君 チヨット是ハ私ノ邪推ノヤウニナルカモ知レマセヌガ、若シ此簡易保險ノ方ガ實施サレタ曉ニハ此方ハ先刻來段々御說明ノアル通り、最モ下層ノ人民マデ及ボシテ行クモノデアリマスガ、ソレニ依ッテ今マデ徵兵保險ヲヤッテ居ッタモノモ此方ニ

皆行クヤウナ傾ガアツタラバ、唯ダ保險其モノヲナクシテ軍事上國ノ上ニ於テ非常ナル關係ヲ及シハセヌカト云フノガ吾々ノ心配ノ點ニナリテ居リマス、ト云フノハ先刻申シマシタ通り兵ニ出ル時モ非常ニ安心ヲ以テ出ルト云フコトガ軍人トシテ非常ニ必要ナコトト思ヒマス、往往今日ノ時勢ハ下層ノ者ハ非常ニ苦シシテ居ルノデアリマシテ、其方ニ氣ヲ引カレルガ爲メ國ノ爲ニ盡スコトガ出來ヌヤウニナツタラバ甚ダ面白クナイノデアリナカト云フコトヲ憂ヒテ御尋ネスルノデアリマスガ、其所等ノ點ニ付テ陸軍ノ方デハ別ニ御攻究ハナカッタデアリマスガ

○政府委員(隈徳三君) 徵兵保險ヲ附シマシテサウシテ當籤ヲ致シテ兵役ニ這入ル場合ニ於キマシテ、此保險ノ爲メ本人モ安心ヲシ、又家族モ困ラナイト云フコトハ無論結構ナコトデアリマスガ、併ナガラ軍事當局ト致シマシテハ此徵兵保險ニ這入ラセテ兵役ニ就ク者ニ後顧ノ憂ノナイヤウニスルト云フコトハソレホド深ク考ヘテ居リマセヌ、ソレヨリモ今日或ハ建議トナリ、法律案トナツテ衆議院ノ方ニモ段々現レテ居リマスガ、貧困者ニシテ兵役ニ就ケバ家族ガ饑ヘニ泣クヤウナ者ニ對シテノ相當ノ施設ガ、國家トシテ必要デアラウト云フ點ニ向ッテハ段々調査研究モ致シテ居リマス、要スルニ徵兵保險、竝ニ此唯今生マレトスル簡易保險ニ付キマシテハ陸軍トシテハ、サウ深イ打撃ヲ受ケルコトハナイ、又ソレ程深ク注意ヲ致シテ居リマセヌ

○委員長(伯爵林博太郎君) モウ眞田男爵ハ宜シウゴザイマスガ

○男爵眞田幸正君 モウ宜シウゴザイマス

○山本達雄君 尙ホ伺ッテ置キタイノデアリマスガ……

○委員長(伯爵林博太郎君) 再ビ簡易生命保險特別會計法案ノ一般ニ移リマス
○山本達雄君 政府委員ノ御話今ノ三百圓ノ額ヲ減ジ、或ハ又募集費ナドニ付テノ質問ヲ致シマスレバ、度々詳シイ御答辯ガゴザイマシタガ、此保險ニ於テハ結局收支償フト云フコトヲ以テ目的トシテ國庫ノ負擔ヲ仰ガナイト云フ程度ニ於テヤルト云フノデ、成程其御説明モ或點ニ付テハ必要デアリマセウガ、併シハ見込デアリマシテ、或ハ私等ノ方ノ考カラ申シマスト云フト、此政府案ノ通りニ實行スルナラバ、政府ハ中ニ經費ヲ足スコトデナク、將來ニ於テ立派ニ收益ヲ得ルコトダラウト思ヒマス、併シ政府ハサウデナイト云フコトデアリマスガ、是ガ若シ政府ノ言フ如ク益ハ無イモノトシテモ、亦我々ガ言フ如ク此通りニ往ツタナラバ、數年ノ後ニ至ルト云フト立派ノモノデ澤山利益ガ有ルモノト云フコトニナツタ來ルト云フコトニシテモ、其結果ハドウナルカト云フト、結局民業ト競争シテ、サウシテ其結果ニ於テ利益ガ有ルト云フコトニ陥ルデアラウト云フコトヲ、私ハ憂フルノデアリマス、サウ云フ趣意デ、見込ニ於テハ一方ハ益ガ無イ、一方ハツレガ爲メ大變益ガ有ルト云フコトガ起ルナラバ、政府ハ矢張り其利益ヲ此案デシテモ、其方ニ無論向イテ行クト云フ御考デアリマスガ、ソレヲチヨット伺ヒタイ

○政府委員(松本丞治君) 政府ハ利益モ無ク、損失モ無ク、常ニ計算上トシクニ參ルト云フコトニ考ヘテ居リマス、此見込ニ付キマシテハ或ハ唯今ノ御意見ノ如ク隨分利益ヲ生シテ來ルダラウト云フ樂觀說モゴザイマス、又之ニ反シテ中ニ死亡率ノ如キハ豫想ヨリ高マルダラウ、老廢者ガ這入ルダラウト云フ、ソナヤウナ結果トシテ、其國庫ニ負擔ヲ掛ケルヤウナコトガ生シハシマイカト云フ悲觀說モアルノデアリマス、此見込ニ付

テハドレガ中タルト云フコトハ將來ノ事ヲ確言ハ出來マセヌガ、是等ハ樂觀說、悲觀說總テヲ參酌シマシタ末、政府デハ樂觀デモナク、悲觀デモナイ、即チ利益モ生ゼズ、損失モ生ジナイト云フコトデ、大體ノ見込ハワコニ付ケテ居リマス

○山本達雄君 尙ホ質問シマスガ、成程サウ往ケバ結構デアリマス、併シ此事ハ豫ネテ政府ガ聲明サレテ居リマス如ク、結局社會政策ト云フモノニ近付カレテ來ルモノデアアルノデアリマスカラ至極宜シイガ、此下級ノ人ニ成ダケ便利ヲ與ヘテ保險ニ入ルヤウニシマシテ、サウシテ其結果ニ於テ政府ガ色々手段ヲ構ヘテヤル爲メ、思ツタヨリモ經費ガ要ツテ、思ツタヨリモ利益ガ少ナイ、國庫ガ損ヲシタト云フヤウナコトニ相成マシタ所ガ、元ト社會政策カラ起ルコトナラバ、申スマデモナク勞働保險ノ如キモノヲ政府ガ殊更ニ出シテ彼ヲ強制スルト云フコトデアリマスナラ、此世話ヲ下等社會ノ爲ニシテ往クモノデアアルナラバ、政府ハ初メヨリ相當ナル損ヲナシテ往クト云フコトガ起キテモ少シモ差支ナイ、寧ロソレガ爲メ利益ガ有ツテ是マデノ營業者ヲ痛メルト云フヨリモ、寧ロ政府ハ思ツタヨリモ經費ガ餘計ニ要ツテ、終ニ損ヲシタト云フ方ガマダ此社會政策ノ上ニ於テハ、私ハ其方ガ宜クハナイカト思フ、ソレ故ニ初メヨリ是ニ付テ十分ノ手數料ヲヤッテ勸誘ヲ烈シクナシ、又保險料ノ價格ヲ廉クシテ被保險者ガ多ナルト云フヨリモ、寧ロ漸次ニヤツテ、初メハ效果ガ現ハレハセヌガ、五年經テ、十年經テシテ、モウ少シハヤラヌケレバナラヌト云フヤウナ時ニ至ツテ收益ノ案ヲ作ルト云フコトニシテ、最初ハ民業ニ影響ヲ及ボサヌヤウニシタ方ガ適當デアラウト思フノデアリマスガ、政府ハ尙ホ損ガアルトシテ見レバ、ソレデモ矢張り此案ヲ以テ何所マデモヤラヌケレバナラヌト云フ御考デアリマスガ

○政府委員(松本丞治君) 此案ハ屢々述ベマシタ如ク損失モ無ク、利益モ無イ、非營利デアアルガ、國庫ガ長ク負擔ヲシテ補充スル趣意デナイト云フコトヲ述ベマシタガ、是ハ損ヲシテ經營スルト云フノハ勿論一ツノ方法デアリマス、既ニ述ベマシタ如ク一人毎ニ幾ラカ損ヲスルト云フコトニナリマスレバ、件數ガ殖エレバ損ガ大キクナル、此損タルヤ幾ラニナルカト云フコトヲ豫想スルコトガ出來マセヌ、斯ノ如ク國庫ニ將來ニ於キマシテ保障スルコトノ出來ナイ程ノ金額ノ負擔ヲサセルニ付テハ、唯今ノ狀態ニ於キマシテハ採リタクナイ、ソレカラ勞働者ノ保險ハ後日尙ホ研究シテ見テ、其勞働者ノ保險モ此簡易保險ヲ以テサセルヤウナ時期ガ至ルカモ知レマセヌガ、斯ノ如キ時期ニ至リマスレバ國庫カラ補給ヲシテ勞働者ノ保險ヲスルコトモアルカモ知レマセヌガ、唯今ノ所デハ左様ナ事デアナイヤウニシテ計畫ヲシタイ、併ナガラ唯今ノ御話デハ募集費ヲ與ヘマシテ、大ニ獎勵スルト云フコトニナレバ競争スルコトニナツタ宜シクナイト云フコトデアリマスガ、是ハ屢々申上ゲマシタ如ク全ク實費ヲ補給スル趣意デアリマシテ、是ガ爲メ餘計ニナルト云フヤウナコトノ意味デ募集費等ヲ與ヘル趣意デハゴザイマセヌ、又屢々申述ベマシタ如ク民業ト競争シテ此事業ヲ營ムト云フ考ハ全然ナイノデアリマス、御憂慮ノ如キコトハ生ジナイカト考ヘマス、尙ホ國庫ガ損ヲ致シマス、而シテ此事業ヲ經營スルト云フコトニナリマスレバ、却テ民業ヲ壓迫スルモノトハ我々ハ實ハ考ヘテ居リマセヌ、是ハ收支償フ程度ニ於テヤリマスルカラ、即チ保險料ノ如キハ、成程保險タル性質上通常保險ヨリモ遙ニ高クナツテ居ル、約ニ割高クナツタアルト云フ趣意デアリマシテ國庫ガ補給ヲ致シマシテ、損ヲ構ハナイヤルト云フコトニナリマスルノハ……總テ保險料ノ如キハ民間ノ保險料ト同

コトニスルカ知レマセヌ、或ハ今スルコトが出來ルカモ知レヌ、サウスレバ政府ノ壓迫ト云フ聲ヲ聽クニ至ルカモ知レヌ、左様ナ主義ハ執リタクナイト云フコトヲ考ヘテ居リマス、○山本達雄君　チヨット……今ノ御話デハ何カ政府が損ヲシテ置イテ保險料ヲ安クスル、サウシテ置イテ民間ヲ壓迫スル如クナルト云フヤウナ政府委員ノ話デアル、私ノハサウデナイ、初メニ三百圓ト云フコトノ最高點ヲ低メルト云フコトニナラヌト云フ、ツレハ引合ヒマセヌ、損ヲスル、サウナレバ一割二分トカ或ハ千分ノ六トカ云フ手數料ハ多イト云フコトデラ減シテヤル、サウ云フコトヲシテ政府が頻ニ勸誘ヲシテ居ルト云フコトニナルト、自然競争ニナツテ來ルト云フコト成ルダケ減シテハドウカ、ツレガ出來ヌカト云フコトノ質問ガアツテ、政府ハ唯ミサウスルト云フコト政府が收支合ハナイ損ヲスル、ツレ故ニ出來マセヌト云フ答辯デアルト私ハサウデナイ、已ムヲ得ズ損ヲナスルナラバ損ヲシテモ宜イデヤナイカ、損ヲシテモ無闇ニ私人ガ利益セント欲シテヤル如ク、營業會社ト競争ヲシテ壓迫スルヤウナコトハ宜シクナイ、故ニサウ云フコトニハ政府が元々社會政策ト云フコトノ是ニ付テ性質ガ籠テ居ルヤウデアル、サウ云フコトノ爲ニ損ヲスルナラバ國庫ガ損ヲシテモ敢テ差支ナイデハナイカト云フ爲ニ私ハ質問ヲシタノデアリマス、好シテ損ヲシテヤルト云フ意味デハナイノデ、ツレハチヨット誤解ヲ解イテ置キマス

○荒井泰治君　唯今ノ問題ニ關聯シテ居リマスカラ、少シクドイヤウデアリマスガ、モウ一應政府委員ニ伺ツテ置キタイコトガアリマス、昨日此矢張り二百圓ノ最高額ヲ二百圓若クハ二百五十圓ニ下ケルコトハ出來ナイノカト云フ質問ノアリマシタ際ニ、政府委員ハツレハ此保險料ノ率ニ於テ異動ヲ生ズルカ出來ナイノデアル、今定メタル所ノモノハ最モ中ヲ得タルモノデ、即チ下級民ニ最モ低廉ニシテ簡易ナル方法ニ依ルト云フ、其低廉ナル所ノ中ヲ得タル所デアルト申ス其三百圓ヲ二百圓若クハ二百五十圓ニ下ケル場合ニハ、是等ニ又異動ヲ生ズル上ゲナケレバナラヌ結果ヲ來スノデアルカラ、サウ云フコトハ絕對ニ出來ナイト云フ御説明デアリマシタカラ、ソコデ私ハ其手數料ノミナラズ費用ニ異動ヲ起スト云フ起リハドツカラ起リマスガ、政府委員ハ始終此保險料其他ヲ御割出ニナル基礎ハ平均七十五圓ノ保險金額ニナルト云フ所ヲ土臺ニシテ始終御説明ニナツテ居リマスカラ、蓋シ此保險ノ金額ガ二十圓以上三百圓以内ト云フ所ノ平均ヲ取ラレタ所ガ即チ七十五圓デアルト云フ、ツレハ中心トシテナサルノデゴザイマセウ、然ラバ若シ此三百圓デゴザイマセヌデ二百圓若クハ二百五十圓デモ此保險金額ノ平均ガ七十五圓若クハ七十五圓以上ニナツタ場合ニハ、其費用ニ變動ヲ起シテ來ル譯デアルトデアリマス、是ハ若シモ平均ヲ七十五圓ト云フ所ノ見据ガツキ……經濟上見据ガツキ若クハ實際上一七十五圓以上デアッタシタナラバ、強チ政府ハ此二百圓ト云フコトヲ固執ナサル譯デアリマス、マイカト云フコトヲ委員ガ御尋フ致シマシタル所ガ、又ソコデ御答ガ變ツタノデアル、ツレハ成程サウデアル、即チ保險料ニ異動ヲ生ズルガ故ニ最高額ヲ下ケルコトガイカヌノデアル、アルガ又其外ニ理由ガアルノデアル、今日保險ヲ掛クル必要上又ハ民間ノ多クノ事情ノ上私ハ戰亂後經濟社會膨脹ノ結果トシテ金モ安クナツテ行クノデアラウ、然ラバ三百圓位ノ所ハ此保險ニ人ガ這入ッテ最モ有效ナ所デアルノデアル、故ニ餘リ下ノ低イ所ハカリデアリカヌノデアルト云フノガ一ツノ理由デアルカラ下ケラレナイノデアルト云フコトヲ初メテ此一ツノ理由ヲ御附加ニナツタノデアリマス、是ハ昨日初メテ伺ツタノ

デゴザイマス、私共ガ思フ、遞信大臣ハ始終御説明ニナリマシタ、私ノ質問ニ對シテ御答ガアツタノニ此結果ニ依ツテ生ズル所ノ闕陷……既ニ此闕陷ヲ補フノデアル、而シテ此闕陷ガドコニアルカト御尋フシタ場合ニハ年々此普通保險ノ金額ガ高キニ上ボツテ行クノデアル、例ヘバ平均五百圓デアッタモノガ六百圓ニ上ボリ、七百圓ニ上ボル、今日ハ現ニ七百圓十圓ト云フ金額、新シイ契約ハ此金額ニ上ボツテ居ッテ年々其趨勢ガアツテ自然ニ二百圓三百圓ト云フ少額ノモノハ顧ミラレナイト思フ、此闕陷ヲ補フガ爲ニ簡易保險ヲ今日行フノデアルト云フコトヲ理由ノ一ツトシテ御認メニナツタノデアル、然ルニ昨日政府委員ハ今ノ三百圓ト云フコトニ固執サル理由トシテ社會ノ趨勢ガ金モ安クナルデアラウ、又人ノ生活上カモ保險ヲカケル效用ト云フモノガ三百圓ガ矢張り適當デアルト云フ御話デアルガ恰モ此闕陷ヲ補フコトヲ矛盾スルノデ、闕陷デナイノデアル、二百圓、三百圓以上ハ普通保險會社ガ澤山ヤッテ居ル所カラ、更ニ闕陷ヲバ寧ロ今日マデ行ハレテ居ッタ所ニ浸入セラレルト云フコトハ、今日私ハ好シテ御ヤリニナル傾キガアルヤウニ私ハ拜聴イタスノデゴザイマス、併シスウ云フコトハ議論ニナリマスカラ、大低ソコニ致シマスガ、要スルニ此問題ニ肝要ナルモノハ此三百圓ヲ下ニ落セバ即チ費用ニ異動ヲ生ズル、狂ヒヲ起ス、損ヲスルヤウニナル、非常ニ損モセズ、得モシナイ貝イ所ノ程度デアルト云フコトガ平均ノ七十五圓ト云フコトノ基礎デアル、此基礎ヲ研究スルノガ最モ肝要ナルコトト信ジマスルノデマサカ政府デハ唯ミ想像デ七十五圓ガ其中ダト仰シヤルノデアアルマイ、之ヲ割出ス計數ニ付テモ總額ハ斯ウデアル、ツレニ對スル費用ハ斯ウデアル、ツレカラ生ミ出ス利子ハ斯ウデアル、又數多ノ例ハ斯ウデアル、又屢言ハレル如クニ手數料デモ金額ノ多イモノト少イモノニ差等ヲ置クト云フコトハ、餘リ小額ノモノデアッタナラバ手數料モ多クカカリマセウ、又ツレト反對ニ金額ガ多イト云フコトニナリマスレバ、先刻來御話ニナツテ居ル即チ一割二分ノ手數料モ或ハ七分デ間ニ合フカモ知レヌ、八分デ折合ガ付クカモ知レヌノデアリマスカラ、此標準デ即チ七十五圓ト置カレマシタ標準ハ果シテ的確ノモノデアるか又不確實ナモノデアるかト云フ研究ハ、即此問題ニ至大ノ關係ヲ有ツテ居ルコトト信ズルノデアリマスガ、願クバ政府ニ於テ其七十五圓ト云フ數ヲ取ラレマシタ表ノ基礎ニテ御調ベヲ頂戴イタスコトガ出來マスレバ至極仕合ト思ヒマスガ、如何デゴザイマセウツレハ拜見スル譯ニナリマセヌデゴザイマスガ

○政府委員(松本丞治君)　確カ御説明ヲ既ニ致シタカト考ヘテ居リマスガ、此平均數ヲ取リマシタ基礎ト云フモノハ何等經驗モゴザイマセヌ、外國ノ事情ヲ取ツテコチラヘ持ツテ參ルコトハ出來マセヌ、即チ小兒保險ノ如キモノガ多イノデ、外國ノ例ヲコチラヘ取ツテ參ツテモ間ニ合ヒマセヌ、種々苦シマシタ結果ト致シテ、郵便貯金ノ二百圓乃至二十圓ト云フモノノ口數ヲ基礎ト致シマシテ、任意ノ二七十五圓ト云フ平均額ヲ得タノデアルト云フコトハ既ニ御話ヲ致シタカト存ジマス、ソコデ仰シヤイマス通り三百圓ヲ下ゲマシテモ七十五圓ト云フ平均ガ保テマスレバ計算ガ合ッテ參リマス、併ナガラ吾々ノ希望スル所ハ、成ルダケ此競争ト云フコトハ勿論シタクナイ競争スルヤウナコトハアリタクナイト云フノデ基礎ヲ立ッテ居リマス、即チ其結果ト致シマシテ寧ロ百圓以下ノ契約ガ多數デアルコトガ我々ノ望ム所デ、成程三百圓位ノ金デナイト足リナイト申上ゲマシタガ、勞働者トモ云フベキ細民ノ間ニモ色々又階級ガ更ニゴザイマス、勞働者中ノ最モ裕カモノ、

職工ヲ申シマスレバ、餘程高イ年齡ニ達シマシテ、所謂熟練シタル労働者トナッタヤウナモノニ付テハ、即チ家族多少アルト云フモノニ付イテハ、此三百圓ト云フコトハ、必要アル、是ヨリ下スコトハ困ルト云フコトヲ申上ゲマシタニ過ギナイノデ、此三百圓ハ總テノ労働者、極メテ若イ、極メテ不熟練ナモノニ付イテ斯ノ如ク決シテ申上ゲテ次第デハナイ、吾ミハ極メテ若イ又極メテ不熟練ナ労働者ト云フ如キモノニ對シマシテハ、尙ホ是等ハ又數カラ申シマスレバ非常ニ多イノデアリマス、是等ニ對シテハ大ニ保險ヲ普及サセタイト云フコトヲ考ヘテ居ル、其結果トシテ先ヅ七十五圓ニ落付カウト考ヘテ居リマス、勿論其二百五十圓、二百圓ニ下ゲマシテヤリマシテ、民間事業ト競争イタシテ大キイ契約ヲ好シテ募集手數料ノ此率ノ如キニ至リマシテモ、大キイ契約ニ向テ此率ヲ大キクスルト云フ方針ヲ執リマシテ競争シテ民間事業ヲ壓迫シテ此平均額ヲ保ツト云フコトヲヤレバ免ニ角デアリマスガ、吾ミノ趣意ハ民間事業ノ及バザル所ニ手ヲ伸ベタイト云フ所ニアルノデアリマスカラ、斯ノ如キ競争ハ勿論コチヲノ趣意デハナイ、接觸スル場合ニ於テハ競争ハ出來得ルダケ避ケタイト云フ考デ有ラニル方法ヲ講ズル積リデアリマスカラ、其結果トシテ手心上ドウシテモ此七十五圓位ニ落付キハセカト云フコトヲ考ヘテ居リマス、強テ此金額ヲ下シテツレデ七十五圓ヲ保ツヤウニ經營シタラ宜クハナイカ……サウ云フコトニナレバ却テ御趣旨ニモ背キ多少民間事業ニ對シテ競争的態度ヲシナケレバナラヌト云フコトニ歸著シヤシナイカト云フコトヲ憂ルノデアリマス

○鎌田勝太郎君 此特別會計法ヲ見マスルト第二條ニ於テ其歲出ノ課目ヲ列記シテアリマス、サウシテ第三條ニ歲入總額ノ歲出總額ニ超過スル金額ハ之ヲ積立ツヘシ其第二項ニ於テ「本會計ノ歲計ニ不足アルトキハ積立金ヨリ之ヲ補足スヘシ」是ハ分ツテ居リマスガ、然ルニ此保險法ニ責任準備金ガ這入ルト心得マスガ、民營保險會社ナドニハ必ず損益ノ中ニ先ヅ責任準備金ヲ積算シマスガ、此保險法ニハ責任準備金ハドコカラ出スト云フコトガ規定ニナツテ居ラヌヤウニ見エマス、其邊ハドウナツテ居リマスカ

○政府委員(馬場鐵一君) 此會計ノ立テ方ハ、唯今御讀上ゲニナリマシタ三條ノ積立ト申シマスルノハ、歲入ノ總額カラ參リマスル所ノ剩餘ヲ申シマスノデ、責任準備金ト云フ意味ノ積立デハナイノデアリマス、其責任準備金ノ方ノ計算ハ其會計ノ上デハ別ニドウ積立ルト云フコトヲ定メルノデアリナイノデ、責任準備金ヲ置キマスコトハ固ヨリノ話デゴザイマスガ、三條ノ積立ト申シマスノハ總テノ歲計上剩餘ヲ一括シテ積立テ參ル次第デゴザイマス

○鎌田勝太郎君 唯今御說明ニ依ルト又尙ホ疑フノデアリマスガ、此第三條ノ歲入歲出ノ總額ニ於テ超過シタダケ積立テラハ是ラ一錢デモ超過シタラハ是ハ積立テラ、若シ不足シタ時分ハ積立金カラ出ス、是ハ分ツテ居リマス、然ルニ此歲入歲出ハドウ云フ課目デアアルカト云ヘバ第二條ニ規定シテアル所ノ歲入課目歲出課目デアアル、サウスルト一錢多クトモ積立テラ、責任準備金ハドコカラ其金ヲ取ルカ、責任準備金ノ金ハナクトモ一圓ノ利益ヲ得レバ一圓積立テラト云フヤウニ見ヘルノデアリマス

○政府委員(馬場鐵一君) 三條ノ積立ト申シマスル中ニハ、自カラ此責任準備金ニナリマスモノガ積立テラレテ行ク計算ニナリマス

○鎌田勝太郎君 サウ云フ積リカ知レマセヌガ、計數ノ上ニ於テサウ往カヌコトガアル、

例ヘバ此第二條ニ書イテアル通り歲入ハ何ヲ云フカ「保險料、積立金ヨリ生スル收入、毎年度豫算ノ定ムル所ニ依リ一般會計ヨリ繰入レル金額及附屬雜收入ヲ以テ其歲入トシ」歲出トハ何ゾヤ「保險金、還付金、事業取扱費其ノ他ノ諸費」是ヲ差引イタラ宜イノデアリマセウ、サウシテ例ヘバ初年度國庫カラ十二萬八百圓ト云フモノヲ出シテ居ル、サウシテ此豫算デハ恰度過不足ノナイヤウニ積立金ト云フモノガ五萬六千圓、是ハ責任積立金ノ手一杯デアアルカドウデアアルカ、若シ是ガ責任積立金ガ手一杯トシテ、保險這入り手ガ少ナイ或ハ經費ノ支出ガ多イト云フ場合ニハ責任積立金ニ變エルコトガ出來ナイ、會社ノ計算デハ其場合ニハ責任準備積立金ヲ取テ損勘定ニナル、此勘定ノ立テ方ハ今ノ御說明デハチヨット私ノ腑ニ落チマセヌガ……

○政府委員(松本丞治君) 責任準備金ノ計算法ニ於テハ別段ニ積立テラコトニナツテ居リマス、併ナガラ會計法ノコトハ表面ニ出テ居リマス責任準備金ノ割合ハサウデナクテ、剩餘金ガ出來タトキカラ積立金ヲスル、計算ノ出來タトキニ責任準備金トシテ積立テテ居ル、責任準備金ヲ差引クト關損ガ出來ルト云フコトニナリマスレバ、翌年ノ國庫補額金ヲ増シテ貴テ翌年ノ國庫補額金ニ依ッテ支出スルト云フ趣意デアリマス、一應積立金トシテ一方ノモノニ併セテ仕舞フ、吾ミノ計算デハ此併セタモノハ或ル時代ヲ經過シタ後ニハ必ず責任準備金ハ以上ニナルトモ以下ニナルト云フコトハナイト思ヒマス、以下ニナルコトニナリマスレバ關損額ヲ生ジタモノハ翌年ニ國庫カラ繰入レテ貴フト云フコトニナリマス

○鎌田勝太郎君 サウスルト初年ニ若シ責任準備金デケノ超過スル歲入ガナカタナラバ、責任準備金ハ足ラヌ儘ニ置イテ置ク、民營會社デ責任準備金ノ足ラヌ儘デ置イタナラバ農商務大臣ハ喧マシイ、是ハ責任準備金ハ足ラヌ儘デ置イテ翌年ニ補充スルト云フ趣意デアリマスガ

○政府委員(松本丞治君) 民間ノ會社ニモ屢々關損ガ立ッテ居ルモノハ一年ダケハ關損ノ狀態ニ立テ、翌年補充サセルト云フ趣意ト同ジデアリマス

○政府委員(馬場鐵一君) チヨット先程仲小路君カラ御質問デアリマシタ、一般會計ニ繰入レル金額ヲ借入金ノ制度ノヤウニ立テタ方が趣意ニ適フデアリカ、簡易生命保險ノ理由ニモ適フデアリカト云フ御質問ガアリマシテ松本政所委員カラ御答ニナリマシタケレドモ、チヨット附加ヘテ御答ヘシタイ點ガアリマス、ツレハ簡易生命保險ハ自營主義ニナツテ居リマスガ、政府ノ計算デハ過不足ノ無イト云フ自營主義デアリマスカラ、事實ニ於テハ剩餘ハ生ズルカモ知レマセヌケレドモツレハ事實ノ結果ニ過ギマセヌ、計算ノ上ニ於テハ自營主義デアリマス會計ノ立方トシテ、ツレハ繰入金トシテヤリマス

○仲小路廉君 私ノ趣意ハ斯ウ云フ趣意デアリマス、是ハ根本ニ對スル問題デアリマスカラ、此會計法ニ伴フ豫算ガ茲ニ出テ居ル、コチラニアル初ノ年二十八萬圓、次ハ十一萬圓、アトハ八萬圓、五萬圓、是ハ補助金ト云フ性質ニナツテ居ル、ツレハ根本ノ問題ニナルト此簡易保險ノ性質ハ多少國庫カラ補助ヲシヤルト云フ趣意デアルト見ルガ、サウ見ルト丁度労働保險ノ小サナモノニナル、私共ハサウ思ハヌ、之ヲ労働保險ト云フモノニ愈ヤルトスト、國家ノ負擔モ容易ナラヌ、ツレハ餘ホドノ趣向ヲ要スルモノデアアル、簡易保險ト云ヘバ先ヅ相互ノ趣意デ國家ハ自分ノ要スル機關ヲ利用スル便利ヲ與ヘル積

リデアルガ、併ナガラ計算ニ於テハ所謂過不及ナシニ政府カラ別ニ現金ヲ以テノ補助ノ方法ヲ執ル、又利益ガ出来カヲト云フテ取リハシナイ、ソレデ從テ地方ノ細民ノ助ケニナルヤウナ方法ヲ執テ行カウト云フ大藏大臣ノ御答辯モサウデアル、サウ云フヤウナ根本趣意アリマスガ、サウセル意味ガ特別會計法ニ現ハレテ來ル、自分ノ此會計ニ於ケル收入中ニ保險料ノミヲ以テ積立金カラ生ズル收入、是ハ能ク分ッテ居リマスガ、毎年度豫算ノ定ムル所ニ依リ一般會計ヨリ繰入レル金額ト云フモノガ經常歲入ノ形ニナルノハ甚ダ變シナモノデナイカト云フ趣意デアッタ、即チ此以前ニ鐵道特別會計ヲ作ッタトキ自營主義ニ根本ヲ立テマシタカラ、ソレデ鐵道ヨリ生ズル收入或ハ借入金若ハ公債ヲ以テヤルト云フ趣意ヲ以テハキカリ根本ノ主義ヲ立テマシタ、ソレデ前ノ二年三年五年ハ仕方アリマスマイガ、其金額ハ勿論國庫カラ出ス外途アリマスマイガ、言換ヘレバ特別會計法ハ永久ニ互ル根本法デアラ、一般會計ヨリ繰入レル云々ト云フコトハ松本政府委員ノ言ハレタ通り創業ニ於ケル已ムヲ得ナイモノデアラ、全ク過渡時代ノモノデアラト云フコトデアッタナラバ已ムヲ得ナイト云フ趣意デアラ、根據ハ今申シタヤウナ過不及ナシ自營主義ニシテ此會計ヲ根本ニシテ政府カラ補助獎勵ヲスル趣意デナイト見テ宜シウゴザイマスガ

○政府委員(松本丞治君) 其通りデゴザイマス

○鎌田勝太郎君 先刻御尋シタ續キデアリマスガ、責任準備金ヲ其年ハ唯剩餘金ヲ一方デ積立金トシテ置イテ翌年ニ於テ整理スルト云フ御話デアリマスガ、サウスルト此參考書ニアリマス所ノ五箇年ノ分ヲ書イデアリマスルガ、此中第一年度ハ不足ガナイ、二年三年四年五年ト不足額ガ出テ居リマス、又積立金ト云フモノハ、大キナ積立金ト云フモノガ出テ居リマス、此積立金ハ責任準備金トシテ積算シタモノカ、サウシテソレダケノ責任準備金ハ保險資金ニヤルカラ是レダケノ不足ニナルト云フ、斯ウ云フヤウニ見レバ宜イカ、サウシテ置イテ五年ハ損スル、六年七年何ツカラ不足額ハ無クナルト云フ御勘定デアリマスガ、ソレカラ若シ又之ガ二十萬圓ト云フ程度ノ、ヨリ以上ノ損額ガ出来タトキハ來年々々ト損額ガ多クナタトキハ一般會計カラ二十萬圓デモ五十萬圓デモ無限ニ持ッテ行カケレバナラス、事實ハアリマスマイガ、理窟ハサウ云フ理窟ニナリハセヌカト思ヒマス其點ニ付イテ伺ヒマス

○政府委員(松本丞治君) 唯今ノ豫算ニ依レバ六年度以後ニ於キマシテハ不足額ハ殆ト生ジナイコトニナッテ參リマス、併シ仰ノ如ク萬一此計算ニ違ヒ生ズルヤウナコトガ生ジマシテ責任準備金ヲ積立テマシタル、ソレニ對シテ不足額ガ生ジテ來ルト云フコトニナリマシタナラバ、先以テ國庫カラ之ヲ無限ニ補填スルホカナイト云フコトニナリマス、併ナガラ左様ナ豫算ハ萬々生ジナイ積リデアルト考ヘテ居リマス

○小松謙次郎君 此自然歲入ノ關陷ト云フモノハ伴フト云フコトハ早晚アリサウニ思ヒマスガ、ソレハ此會計内デ支辨シマスガ、國庫カラ補填シマスガ、例ヘバ料金ヲ徵集シテ途中デ盜マレタト云フヤウナ例ハ随分アル

○政府委員(馬場鐵一君) 豫算ノ上デハ豫備金ノ科目ガゴザイマスカラ一應ハ此會計内デ補填スル積リデアリマス

○山本達雄君 尙ホ私ハ常ニ此民間トノ競爭ト云フコトヲ恐レテ、始終其點ニ付テ質

問ヲシテ居ルデアリマスガ、先刻荒井君ノ質問ニ依リマシテ、政府委員ハ此三百圓ト云フモノヲ下ニ下ケル、下ゲテ置イテ見デモ七十五圓ト云フモノニ付テノ平均ヲ得ヤウト思ヘバ、ヤリ方ニ依ッテハヤレルト、政府ガ民間ト競爭スルト云フ如キ態度デアレバ、隨分イケヌコトハナイデアルト、併シ政府ハ成ルダケ民間ト競爭ヲシナイ方針デアルト……其ヤロウト思ヘバヤレルト云フコトガ大變コワイノデ、餘程ソコヲ要心シテ居リマセヌト云フト、ドウモ當局者ガ盛ニシタイト思ウデアルト、遂ニハ民間ヲ壓迫スルヤウニナルコトガアリハシナイカ、ソレニ付キマシテ競爭ハシナイト言ハレマスガ、此集金ノ割合或ハ又募集費ト云フコトニ付テハ率デ出テ居ル、或ハ百分ノ十二若クハ百分ノ六ト云フコトニ出テ居ル、率デアリマスト云フト、ドウシテモ募集係ノ者ガ人情トシテ、大キイモノヲ取ツタ方ガ一番宜シイ、成ルダケ多ク……例ヘハ百圓ニ付テ六十錢ノ割合ナラバ、三百圓ナラバ一圓八十錢取レル、シテ見ルト百圓ノモノヨリ二百圓ノモノニシテ、六十錢取ルヨリモ一圓八十錢取リタイト云フコトニナッテ、ドウシテモ多ク……ト勸誘スルヤウニナルノハ、人情ノ然ラシメル所デ、果シテサウナレバ百圓ノモノガ自然ニ二百圓附ケルヤウニナリ、又民間ノ會社デ五百圓附ケヤウト云フモノナラバ兄弟二人ニ分ケテ二百五十圓ヅツ附ケルト云フコトモ起ル、ドウモ利ニ走ルコトハ免レヌ、果シテ競爭シナイト云フナラバ、サウ云フヤウナモノヲ率デ以テ定メルヨリモ、一件ニ付テ幾ラ、百圓ノモノヲ募ルノモ、二百圓ノモノヲ募ルノモ、矢張り同ジ手数料デ、同ジ經費デ、別ニ其間ニ違フコトハナイデアリマスガ、何十圓マデハ幾ラトカ或ハ何百圓以上ハ幾ラトカ云フ如キ割合デナシニ、一件ニ付テ幾ラト云フヤウナコトニスレバ、競爭シテ大キイモノヲ取ルト云フヤウナコトハ避ケルコトガ出来ルト思フデアリマスガ、其邊ニ付テ御考ハ如何デアリマスガ、念ノ爲ニチヨット……

○政府委員(松本丞治君) 私ハ唯今ノ御質問ハ前回或ハ前々回デゴザイマシタカ委員會ニ於テ詳シク御答イタシマシタモノデゴザイマスルカラ簡單ニ御答イタシマスガ、一向率デ定メテ居リマセヌ、七十五圓ヲ平均ト致シマシテ、之ヲ取ツテ千分ノ六トカ百分ノ十二トカ云フ計算スル基礎トシテ擧ゲテ居ルニ過ギナイノデ、唯今仰セノ如ク、例ヘバ集金ノ如キモノハ件數ニ依ッテ報酬ヲ拂フ、或ハ又募集手数料ノ如キニ至リマシテモ、大キイ額ノモノニ對シテハ餘ホド低イ率ノ手数料ヲ與ヘル、小キイ額ノモノニ對シテハ大キイ率ノ手数料ヲ與ヘルト云フ、丁度唯今仰セノ如キ方針ニシタイト云フコトデ、其細カイ金額ノ點ニ至ッテハ唯今研究中デアルト云フコトヲ屢、御答シテ居ル次第デアリマス、左様御了承ヲ願ヒタイ

○委員長(伯耆林博太郎君) 唯今マデハ簡易生命保險特別會計法案ノ一般ニ對スル御質問ノ御願イタシマシタノデゴザイマスガ、ソレニ付キマシテモウ既ニ逐條同様ニ御質問ガ出タノデアリマスガ、併シ會議ノ順序ト致シマシテ、是ヨリ更ニ第一條ヨリ第五條ニ至ルマデノ質問ニ移リマス、此際御質問ガアリマスナラバ御願イタシマス……別ニゴザイマセヌカ、尙此保險法案竝ニ特別會計法案ノ兩案ニ付キマシテ一般ノ御質問デモ宜シウゴザイマスガ……ゴザイマセヌカ、別ニゴザイマセヌケレバ今日ハ是ニテ會ヲ閉ヂマス、尙彙報ヲ以テマシテ明日ノ刻限ヲ申上ゲマス

午後三時三十七分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵林 博太郎君 副委員長 子爵前田 利定君

委員 子爵本多 忠鋒君 仲小路 廉君 小松謙次郎君

山本 達雄君 男爵眞田 幸世君 男爵長松 篤斐君

山内 一次君 水野鍊太郎君 桑田 熊藏君

荒井 泰治君 鎌田勝太郎君

國務大臣 大藏大臣 武富 時敏君 遞信大臣 箕浦 勝人君

政府委員 法制局參事官 松本 丞治君 法制局參事官 馬場 鏝一君

陸軍主計總監 隈 德三君 遞信書記官 中西 四郎君

爲替貯金局長 肥後 八次君 爲替貯金局事務官 日吉 平吉君